

## 第561回 10月度大会レポート

平成24年10月13日(土) 天候：晴れ

【会場】大飯町大島 西森渡船

レポート 藤阪

今回の大会は、親睦会を兼ね1泊2日の予定で、13日が大会で宿泊し親睦会(山川副会長によるチヌ釣の講習)翌日は自由行動(個人釣行、帰宅他)の日程で開催されました。

宿泊するので、終了時間は17:00となり、抽選の結果1番くじを引いた秋山班長、山本さんと西山さんがカンジャ筏、河野会長と松元班長は涙水筏、山川副会長と私が大浦筏に決まり午前5:20頃出船(少し早め?)。

筏に乗り、場所決めの時、山川副会長より「人が乗ってない」(船長談)と聞き、「今回も期待できない?」が頭をよぎる。気を取り直し、仕度をしている時に横を見ると山川副会長はすでに始めておられ、急ぎ仕度を整える。

当日の仕掛けは、ハリス1.5号、針はシラサ専用の8号、錘0.5号で中ぐらいのシラサを針に刺し落とし込む。数回繰り返すが、なんら反応も無ので、シラサの底まきをしたところ、しばらくすると、竿先を押さえ込むアタリであわせるが残念ながら釣れたのはオニオコゼ、「さされると大変なので気をつけて」と山川副会長の声がかかりスカリに入れる。以後、餌をかじられた形跡があるが何かわからない。

ダンゴを準備し、オキアミ、アミを餌にし数個投入、シラサの底まきもしてみるが反応はいまいち、チョコチョコとアタリが出始め合わせるがハリスを切られる(フグ)何回目かで、フグを釣り上げる。退屈はしない程度に何らかの反応がある。

潮が変わらないとだめかな?と思いながら、もう1本竿を出すことにする。丸貝をつけチョイ投げし置き竿にする。

背中から日が照ってきたので山川副会長がパラソルを準備する。人影が動くとき魚の警戒心を強める感じがするとの事で、なるほど、と私もパラソルを準備し影を隠す。

10:00前『雰囲気が変わってきた』と山川副会長に話しかけられ少し真剣に打ち返す。潮が微妙に変化し始め、流され始めたので錘を1号に変え様子を見ていたところ、山川副会長の竿が曲がっている、25cmのチヌを仕留める。徐々にチヌの姿を見てヤル気が沸くがこちらの反応はいまいちの状態・・・。

その様子を察してか、山川副会長が釣った方法を実践指導していただく。

【錘を外し、竿先をまっすぐに保ち潮の流れに乗せる】数回手本を見せて頂き、早速教わったことを繰り返す。10:30頃、再び山川副会長が同サイズのチヌをゲット、廻りにチヌが居る事を願いながら打ち込みを繰り返す。

11:00頃待望のアタリであわせるグッと心地よい反応、山川副会長からチヌや！  
ゆっくりな！と声がかかる。久しぶりの感覚を味わいながらやり取り、30cmのチヌ  
をタモに収める。

やったな！教えた甲斐があったわ、釣ってくれた事がうれしいと釣るのを中断しこち  
らに來られ喜びも倍増。

11:30頃から、再び潮が変わりなんら変化が無い状態が続く。

置き竿にはなんら変化も無く、餌もボケ、丸貝、サナギと変えてみるがアタリの形跡  
は無い。(ボケはたまに餌がなくなるが針掛しない)

ダンゴを入れるたびに目の前をサヨリが群がるが付け餌には。。。。。

時間ギリギリまで粘るが終了！

この後は懇親会が控えているが、残念ながら西山氏は都合で大会のみの参加となる。

参加者：河野会長、山川副会長、松元班長、秋山班長、山本さん、西山さん、藤阪  
計 7名

長寸 優勝：藤 阪 30.0cm

匹数 優勝：山川副会長 25.0cm、25.1cm 計 2匹  
準優勝：該当者無し

追記：翌日は個人釣行で金丸にてリベンジ？(14:00 終了で)

参加者：河野会長、山川副会長、松元班長、秋山班長、藤阪

山川副会長と秋山班長 大浦筏 釣果・・・？

河野会長、松元班長、藤阪 大浦カセ 釣果・・・？

松元班長が25cm弱を2匹

私は・・・お土産のマグチ でした。

懇親会でも、山川副会長の講習会や松元班長の釣り方、山本さんの経験談、  
河野会長の経験談、秋山班長の釣り方などチヌ釣談義・・・？で大いに盛り  
上がり釣技向上に大変参考になりました。次回の大会で試してみようと思ひ  
ます。

参加者の皆様お疲れ様でした。